

じどうぎゃくたいぼうし
**児童虐待防止
アクションプラン**

見直しのためにみなさんの
意見を聴かせてください！



岩手県

「虐待」ってなに？

力のある人が、その力をつかって、^{こま}困っている人や、自分より弱い人の体や心を^{きず}傷つけたり、とても^{いや}嫌な思いをさせたりすることを「^{ぎゃくたい}虐待」といいます。^{じどうぎゃくたい}児童虐待とは、こどもが大人から、そのような^{いや}嫌だなど思うことをされることを言います。

岩手県では、「^{じどうぎゃくたいぼうし}児童虐待防止アクションプラン」という、^{ぎゃくたい}こどもたちを虐待から守るための^{けいかく}計画をつくり、その見直しをしています。

だれのための計画なの？

^{ほうりつ}法律（国のルール）に書いてある、18歳^{みまん}未満のこどもが^{たいしやう}対象です。また、18歳になってからも引き続き^{しえん}支援が^{ひつよう}必要な人、^{ほごしゃ}保護者、おなかに赤ちゃんがいるお母さんも^{たいしやう}対象になります。

こどもが安心して暮らせるいわてをつくるために、^{そだ}こどもを生み、育てる人たちのことも県のみんなで支えていけるような^{けいかく}計画にしたいと考えています。



児童虐待防止アクションプランは、 何を目標しているの？

こどもに^{かか}関わるすべての大人が「^{けんり}子どもの権利」を大切に
にし、すべてのこどもが安心して^{すこ}健やかに暮らせるいわて
をつくることをめざしています。

☆「権利」ってなに？

^{けんり}権利とは、だれもが持っている「できること」や
「守られるもの」のことです。すべての人は、人間ら
しく幸せに生きるために、あたりまえに守られるべき
大切なもの（^{じんけん}人権という^{けんり}権利）を持っています。

そして、こどもは、周りの人に^{あい}愛され大切にされて
いると感じながら^く暮らし、^{すこ}健やかに成長できるように
するために^{ひつよう}必要な「^{けんり}子どもの権利」というものも持っ
ています。

たとえば…

^{あそ}遊ぶこと。^{まな}学ぶこと。休むこと。

^{たにん}他人を^{きず}傷つけない^{かぎ}限り、^{いけん}意見を自由に伝えること。

伝えたことを大切にしてもらえること。

自分を大切な^{そんざい}存在だと思って^す過ごすこと。 など…

このような^{けんり}権利を^{うば}奪うことも、
^{ぎゃくたい}虐待の1つです。



どんなことに取り組むの？

1. 虐待の発生を予防する



【こどもが虐待されないようにするには？】

① ^{ぎゃくたい}虐待についてみんなに知ってもらおう^{かつどう}活動^{おこな}をします

毎年11月の^{じどうぎゃくたいぼうしすいしん}児童虐待防止推進キャンペーン等や学校で^{じんけん}人権に対する授業を通して^{じゅぎょう}虐待について知ってもらおう^{ぎゃくたい}活動^{かつどう}を行っていきます。

② ^{しえん}赤ちゃんが生まれる前からお母さんへの^{じゅうじつ}支援を充実させます

赤ちゃんが生まれる前から、^{しんぱい}心配なことや^{ふあん}不安なことを^{そうだん}相談できるようにします。家族みんなで子育てに参加できるようにしていきます。



③ 子育てしているみなさんをサポートします

こどもと子育てをしている人たちが身近な場所で^{そうだん}相談できる場所を^{ととの}整えたり、子育てで^{こま}困っている家庭を^{しえん}支援します。



どんなことに取り組むの？

2. 虐待を早期に発見する

【困っているこどもに早く気づくためには？】

① ^{ちいき}地域のおとなの見守り

学校や^{ようちえん}幼稚園の先生、まちの大人たちが、こどもが安心して^す過ごせるように^{みまも}見守っていきます。



② ^{ぎゃくたい}虐待に早く気づくための取り組み

つらい思いをしているこどもを早く見つけて助けられるようにするために学校、^{ほいくえん}保育園、お医者さん等^{けんしゅう}で研修したり、こどもに^{かか}関わる仕事をしている大人たちが、こどもたちに^{しんぱい}心配なことがないか^{ていきてき}定期的に^{じょうほうきょうゆう}情報共有をしていけるようにします。



みんなも心配なお友だちがいたら、周りのおとなに相談してね！

どんなことに取り組むの？

3. 虐待の相談機能と対応を充実させる

【虐待を防ぐためにみんなで協力します】

① 関係する^{きかん}機関の^{れんけい}連携を強めていきます



^{ぎゃくたい}虐待の^{つうこく}通告が年々増えているので、関係するいろいろな^{きかん}機関（^{じどうそうだんじょ}児童相談所、^{けいさつ}警察、学校、市町村、病院など）が^{れんけい}連携して^{やくわり}役割を果たします。

② ^{じんそく}迅速な^{たいおう}対応

24時間いつでも^{つうこく}通告や^{そうだん}相談ができるしくみを整え、^{ぎゃく}虐待の^{つうこく}通告があったら、48時間以内にこどもの安全を^{かくにん}確認し、^{ひつよう}必要なら^{たいおう}法的な対応をします。



③ こどもたちの心のケア

さまざまな理由で家族と一緒に暮らせないこどもたちの心のケアを^{じゅうじつ}充実させ、こどもが意見を言いやすいように意見を聞く^{きかい}機会を作ったり、家庭のようなところで育てられるようにします。



どんなことに取り組むの？

4. 虐待の再発防止と自立支援

【虐待がくりかえされないようにするには？】



① 親とこどものサポート

親が子育てについて学ぶことや、子育てについて心配なこと、不安なことを相談できるようにします。

こどもが、嫌な出来事や嫌な気持ちを、虐待のことを専門にしている人たちに相談できるようにします。

② 家に帰ってからのサポート

施設からお家に帰っても、不安なことや心配なことを聞いてくれる大人がいます。こどもが安心して生活するために必要なことを一緒に考えて話し合ってくれる人たちがいます。



③ 1人で生活していくためのサポート

里親さんのお家や施設での生活を経験したこどものなかには、学生や社会人として1人で生活を始めたときに、心や体が不安定になることもあります。さまざまなトラブルに巻き込まれてしまうこともあるかもしれません。

1人できちんと生活していくために、困ったら大人に相談できるようにしていきます。



どんな相談ができるの？：生活のこと、お金のこと、住む場所のこと。

どんな意見でもいいの？

- ・「〇ページの〇〇〇が気に入った！」
- ・「〇ページの〇〇〇について、もっとこんなふうに取り組んでほしい」
- ・「この資料には書いていないけど、〇〇〇に取り組んでほしい」

など、どんな意見でもかまいません。

この計画にもとづき、より良い取り組みを行うために、**こどもたちの意見をよく聞き**、みなさんにとって最もよいことは何かを一緒に考えていきたいので、感じたことや気づいたことをぜひ聞かせてください！

じどうぎゃくたいぼうし

「**児童虐待防止アクションプラン（2026～2030）**」をより良いものにするために、たくさんの意見を聞かせてください！

意見や感想の提出について

みなさんの意見や感想は、令和8年1月16日（金）までに岩手県保健福祉部子ども子育て支援室へ提出をお願いします。

みなさんからいただいた意見は、一つ一つ大切に読ませていただき、計画に取り入れたり、取り組みを進める上での参考にさせていただきます。

提出方法	<ul style="list-style-type: none">● 郵送(手紙やハガキ)の場合 あて先に「〒020-8570 岩手県 保健福祉部 子ども子育て支援室」と書いて送ってください。住所は書かなくても大丈夫です。● ファックス(FAX)の場合 「019-629-5464」の番号にファックスを送ってください。● 電子メールの場合 「AD0007-4@pref.iwate.jp」までメールを送ってください。
意見や感想の書き方	<ul style="list-style-type: none">・ 意見や感想の書き方は自由です(決まりはありません)。・ ファックスや電子メールを使って意見や感想を提出する場合は、県のホームページにある回答用紙【やさしい版】を使うと便利です。 https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1073736/1078810.html